



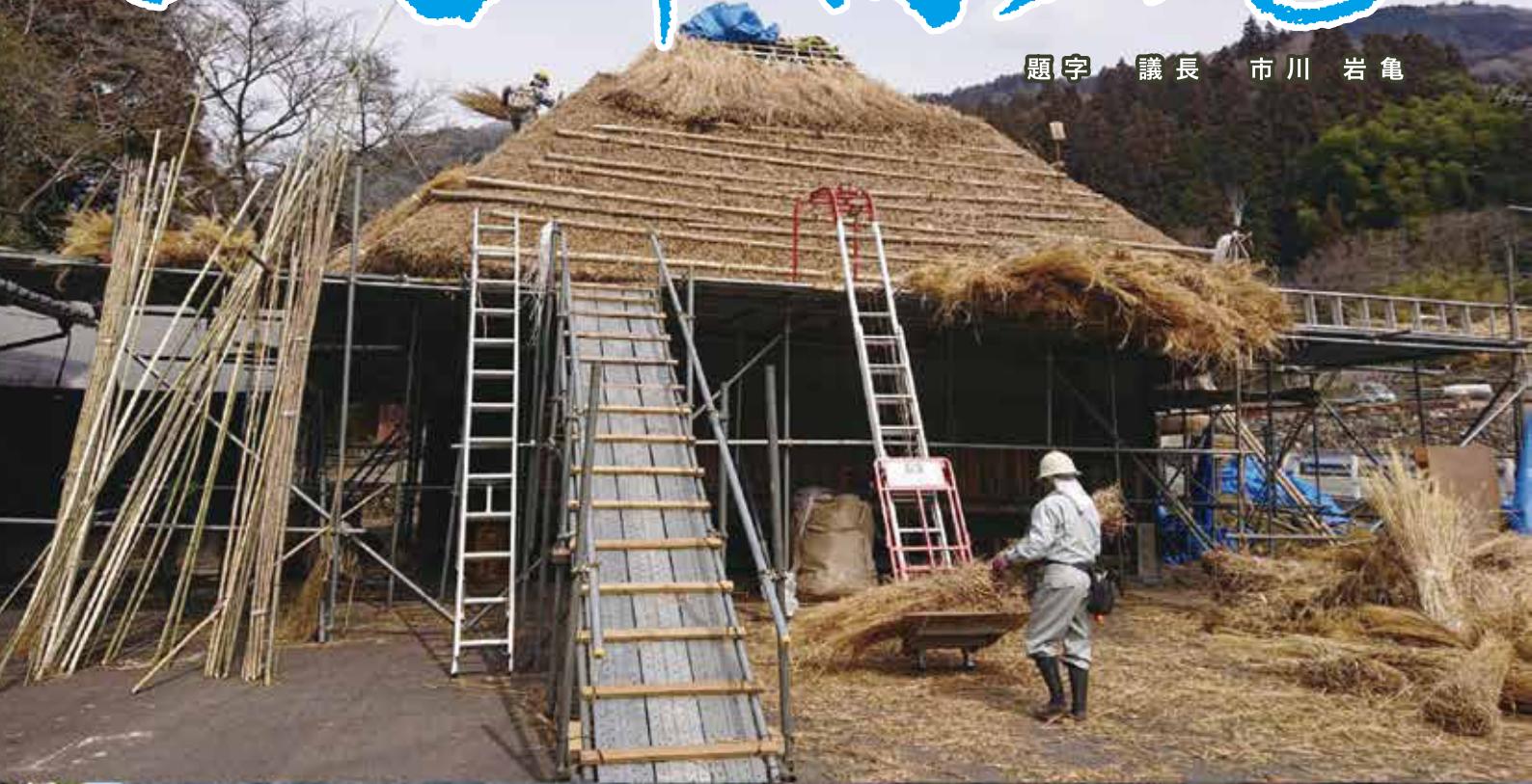
ゆすはら町議会だより

令和4年4月20日

第119号

# 四十源流

題字 議長 市川 岩龜







施政方針を述べる吉田町長

令和4年度に臨む施政方針については「広報ゆすはら」に、詳しく掲載されます。  
12月の町長選挙で2期目の吉田町政が誕生しましたので、その町長の考え方を抜粋して掲載いたします。

# 令和4年度に臨む施政方針

## ●みんなが生きがいと幸せを感じられる町を目指して梼原を未来へ！

世界の課題解決先進地域として経済を再生し、自然とともに豊かな町民生活を実現することにより、町民の皆さんが出でと誇りを持ち、幸せな笑顔にあふれ、訪れた人にも「来て良かった」「何度も来たい」「ここで住みたい」と思っていただける町づくりに取り組む。

## ●ゆすはらの将来を見据えた取組み

新型コロナウィルスの感染拡大による新しい生活様式への転換が社会環境をまぐるしく変化させ拍車をかけている。社会の変化に対応し、子や孫の世代に幸せな暮らしをつなげる町づくりを勧めるために課題の解決に取り組む。町民のみなさんが安心して安全に暮らせる生活環境の整備と住民福祉の向上につながる持続可能な町づくりを行っていく。令和4年度はこれまでの取り組みを継続しながら、産業と教育の振興に重点的に取り組む。

### 1. 太郎川公園の再生事業

資材単価の高騰を踏まえハード整備の見直しを早々に行う。産業の振興に向けての大事な拠点であり、本町の特性を生かした農産物や特産品等の生産、加工の拡大と集出荷の仕組みづくりを生産者の皆さんや集落活動センターと共に構築していく。

### 2. 教育の振興

保幼小中高の18年間を通して「つなげて」「つづけて」「よくする」なかで、自己肯定感を高め、基礎学力の向上に取り組んできた。

令和4年度は、一貫教育支援センターの充実を図り基礎基本の徹底と人生100年時代をたくましく生き抜ける力の育成につなげる教育の振興を図っていく。

上記の取り組みを実現するために以下6つの社会を目指す

- ・梼原ならではの保健、医療、福祉、介護が充実した社会
- ・自身あふれる梼原人を育てる教育の確立した社会
- ・次世代へより良い環境を引継ぐ社会
- ・魅力ある生産の創出と地域を支える産業が発展した社会
- ・助け合い支え合いながら暮らす社会
- ・世界の人々とつながり支持され選ばれる社会

# 新年度予算総額91億600万円を可決

令和4年度の一般会計をはじめとする各会計当初予算の審査は、総務教育厚生常任委員会に付託され、付託を受けた総務教育厚生常任委員会は、産業建設常任委員会に連合審査を要請し、3月9日に執行部幹部職員の出席を求め審査を行い、一般会計予算、病院事業会計予算及び特別会計予算10件の全予算について、いずれも全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定した旨の審査報告書を、10日に議長に提出した。

## 連合審査での主な質疑・答弁

# 令和4年度予算を徹底審査

予算連合審査

### 【歳入について】

問 森林環境譲与税について、使い道や計画を教えていただきたい。また、森林に対する財源として、できるだけ基金へ積み残さず有効に活用してほしい。

答 森林の文化創造推進課長

令和3年度は約4千3百万円余、令和4年度は5千万円の収入が予定されている。使い道は、森林づくり推進交付金として間伐、ペレットの買取に対する交付金の財源として使う予定。その他として、担い手育成の財源として使用。全ての譲与税の執行とはならず、残りを基金として積み立て翌年度以降の事業に活用するが、財源をしつかり活かして未来の森林づくりにつながるよう施策を考えていきたい。

問 公有財産購入費2千8百万円について、具体的にどこを購入予定なのか。

答 森林の文化創造推進課長

分収権の購入が1件と川井地区の町

### 【ご養殖継続補助金は、老朽化している既存の池の修復に使用するのか】

有地に営林署が植林している官行造林の買収も考えている。川井地区で実施している森の工場を延伸し、家籠戸側に回ろうという計画に1千3百万円程の官行造林の分収権を購入し、残りの1千5百万円については個人または集落が分収している、面積にしておよそ60ヘクタールの分収権の購入を計画している。

答 総務課長

新たな盛土残土場等を計画しているのではなく、大越が大規模盛土となつてある現在の場所は水量不足があるということ、田野々に養殖池の増設と孵化池の移転を計画している。太田戸は令和3年度で廃止となる。

### 【総務費について】

問 昨年9月議会において松原小学校跡のグランド整備ということで247万5千円が計上されているが、まだ整備されていない。繰越になるのか。

答 総務課長

令和3年度の事業で発注しており、コロナ禍による資材運搬等の遅れで土の搬入が遅れているが、年度内には完了する予定である。

問 中越計清

大規模盛土造成地計画策定委託料は、どこを計画しているのか。また、あめ

### 【緊急災害等連絡網としての基地局を大変重要と考える。アマチュア無線クラブ活動とは具体的にどのような運用組織活動をするのか】

西川 豊正  
緊急災害等連絡網としての基地局を大変重要と考える。アマチュア無線クラブ活動とは具体的にどのような運用組織活動をするのか。

答 総務課長

クラブはまだ結成していない。昨年12月には主に役場職員と消防士が免許取得したが、令和4年度には自主防災組織を含め養成者を増やそうと思つている。いざという時に扱える人と、協

力可能な人によって役場が中心になりクラブを作る予定。無線機の購入助成と電波使用料の補助としてクラブにして補助金を計上。

## 問

**光ネット設備機器更改がされているが、各戸の端末機に不具合の状況で更新時期を迎えている。順次更新の予定はあるのか。**

西川 豊正

**総務課長**

告知端末は老朽化に伴う修繕が頻繁に出てきている。映像でも送信できる新しい機械に代えていきたいと思っているが、有利な財源等がなく進んでいない状況。

## 【農林水産業費について】

**問** 郎川公園再生計画の中、道の駅において地域物産販売での食品衛生法改正に伴い加工施設の整備が検討されている。複合型施設にはならないものか。

西川 豊正

**答** 産業振興課長

キジ加工業務を引き継いだ株式会社四万川への補助金。加工場は旧四万川小学校ブール跡地で、冷凍庫や器具殺菌庫等を整備予定。キジ加工を想定し

ており他の農産物加工までは想定していない。六次産業用として考えていいが、井上ワイナリーと共同でキジのアヒージョ等六次産業を検討している。個人や団体の改修補助金も計上しているので活用してほしい。

## 問

**森田 呂弥**

キジ加工施設について、西区のジビ工加工所を使用すれば建物をいくつも建設する必要がないが、一緒にならな

いか。

**産業振興課長**

ジビ工とは処理の方法が違う。キジ生産組合を株式会社四万川に引き継ぐことを目標としている。

**町長**

西区の加工所ではスペースが足りない。キジだけでなく地域の農産物の加工にも結び付くことを期待している。

**問** 西川慶男

町が取り組んでいる一次産業、ハウスや基盤整備等の予算について町長の考え方を問う。

**答** 町長

高齢化率が46%になり、後継者の育成が心配であるが、農業に対する意欲の向上や少量多品目等様々な取り組みに対する支援、集出荷体制の整備を図

## 問

**西川 慶男**

が、Jターン等で構原に住んでいる方が農業や林業に従事すれば人口増や所得増にもつながってくる。様々な課題や取り組み方はあると思うが、しっかりと取り組んでいただきたい。

**町長**

農業・林業振興については、行政だけではできないので、可能性のある方がいれば情報提供いただきたいし、こ

れが積極的に取り組むことが必要ではないか。

**答** 森林の文化創造推進課長

Remoriや協力隊の活用をしているが、直営班も検討してきた経緯がある。本町には森林組合や民間の事業体がいる中で、こうした技術をどう継承していくか、団体がどういう取り組みをしているかも検討しながら、段階を経て判断していく必要があると考えている。担い手や組織は必要不可欠であるということは重々承知しているので、担い手技術者の確保を早急に進められるよう努力していきたい。

**西川 慶男**

林業振興には町直営の労務班が必要。資源はあるものの、その資源を切り出してお金に換えることができないとい

う壁に当たっている。それを打開することにより林業所得が拡大し町全体が豊かになる。積極的に取り組むことが必要ではないか。



© Taisuke tsurui

一次産業の振興により所得向上を目指す

## 問

**西川 慶男**

林業振興には町直営の労務班が必要。資源はあるものの、その資源を切り出してお金に換えることができないとい

う壁に当たっている。それを打開することにより林業所得が拡大し町全体が豊かになる。積極的に取り組むことが必要ではないか。

**答** 森林の文化創造推進課長

Remoriや協力隊の活用をしているが、直営班も検討してきた経緯がある。本町には森林組合や民間の事業体がいる中で、こうした技術をどう継承していくか、団体がどういう取り組みをしているかも検討しながら、段階を経て判断していく必要があると考えている。担い手や組織は必要不可欠であるということは重々承知しているので、担い手技術者の確保を早急に進められるよう努力していきたい。

**答** 町長

直営班に代わるものとして、担い手を育成する必要があるという部分の中でRemoriを立ち上げ更に技術を

ういう思いで取り組んでいると宣伝いだしたい。Jターン、Iターンの方を呼び込んでいきながら一次産業の振興に結び付け、心豊かに暮らしていけるような町を目指していきたい。

# 予算連合審査

深めていこうという若手の集団であるCOMORIができている。こういった人達を核にしながら協力隊の研修も重ね、自然発生的な組織ができるよう取り組みを繋げていきたいと考える。

問

西川慶男

町有地と分収林では大木が成長し続けており、その莫大な資源を年次計画をたて労務班を立ち上げ伐採すれば財産収入となる。積極的な取り組みを。

答  
西川慶男  
町長

町有地と分収林では大木が成長し続けており、その莫大な資源を年次計画をたて労務班を立ち上げ伐採すれば財産収入となる。積極的な取り組みを。担い手づくりが必要であり、広大な町有林を活かしながらお金に換える仕組みができ始めたところなので、それをしっかりと進めたい。

問

下元秀俊

森林の担い手支援事業について、豊富な森林資源の活用が好循環を生み始めている。人づくりの好機である。取り組みを問う。また飲料水の水源地の水が少なくなっている。針葉樹だけではなく広葉樹を積極的に植えるなどの対策が必要である。

答  
森林の文化創造推進課長

現在2人の地域おこし協力隊が研修中で来年度は4人の採用が決まっている。更に応募は増えてきている。人材確保の好機とらえて担い手育成に努める。

めていく。また針葉樹だけでなく広葉樹も含めてバランスのとれた森林にしていくことを考えていく。

問

中越計清

本町の産業は農林業含め重要な競争力強化対策補助金として計上しているが、町有林の原木を農家に提供し、したがって農家が取り組みやすいようななかたちを作っていくべきではないか。また、林業機械の導入支援について、2~3人のグループに対しても町単で助成し事業者を育てていいことが大事ではないか。

答  
森林の文化創造推進課長

林業機械は、一定規模の伐採量を確保できる事業体でなければ国県の補助金はない状況。季節的森林整備事業体あるいはグループに機械の補助はないのが現状。今後どうすれば新しく事業を実施できる体制がとりやすいかといふことを聞き取りしながら取り組んでみたい。

答  
町長



ホテルの建設がゼロベースになり構原町観光協会は今後どのような役割を担っていくのか

【商工費について】  
問  
森田呂弥  
答  
ホテルの建設がゼロベースになった時点で、観光協会もゼロベースで考えるべきではないか。

## 【商工費について】

問  
西川豊正  
答  
観光協会が主体となつてイベントを計画し、町が検討し、支援をするという本来の姿になれば良いと思うので、観光協会にも働きかけていく。高原祭りは商工会が事務局を持っており、グルメ祭りは役場の産業振興課が事務局をしている。観光協会が発足しているので、イベントを観光協会が事務局となる組織になればいいと思う。

問  
西川豊正  
答  
観光協会発足に伴い、観光に伴う多種にわたるイベント等を観光協会に担つてもらつては。

答  
産業振興課長  
答  
産業振興課長  
答  
産業振興課長  
答  
産業振興課長

住民の方々から厳しい意見もある。そういうことも協議して観光協会との連携を密にして取り組んでいきたいと考えている。

問  
下元秀俊  
答  
観光協会の委託事業もまだ明示されていないがどのようになっているのか。また観光協会の体制も見直しが必要ではないか。

問  
下元秀俊  
答  
観光協会が外部に委託し発注しているが、作成中で今後上がつてくる予定である。また体制の見直しについては別組織であることから明言できない。

## 【土木費について】

問  
西川豊正  
答  
レッドゾーンにかかる宅地に住宅が建築されている、あるいは新たに新築を計画した場合、費用が余分に

かかって来るが、救済措置はないか。

**答 環境整備課長**

レッドゾーンは県が指定しており、解消について事業を検討しているとのことではあるが、レッドゾーンを外せるかというと難しいところがある。町からも国・県に要望をしているが現状は難しい。

**問 中越計清**

道路維持管理委託料について、路線も全て建設協会に委託しているのか。町道についても地元の要望も聞くべきである。

**答 環境整備課長**

1千140万円が町道、3千300万円が県道・国道の管理委託料。年間の延長を決めて区割りし維持管理チームへ提示後施行。地元から相談があれば検討しがあれば、年間の作業量で調整し検討するので、一度相談いただきたい。

なる。  
四万川診療所、松原診療所とともに1

## 梼原病院

9日の連合審査には、梼原病院の池田院長の出席を要求し、病院の現状等についての説明を求めた。

池田院長からは、梼原病院が目指す

地域医療について、良質なプライマリケアの提供、救急医療の確保、保健予防活動の3つの項目の概要説明があつた。また、それら3つの項目を達成していくため具体的に病院としてやつていくべき役割として、地域包括ケアシステムの充実、15次救急・災害医療への対応、保健・介護・福祉との協働、行政との連携、住民との絆、地域医療の教育の場の6つの話があつた。

最後に、予算審査には直接関係はないが、全世界で流行している、新型コロナウイルス感染症についての詳しい話があつた。

## 令和4年度梼原町各会計当初予算の状況

(単位：千円)

会計別	令和4年度	令和3年度	対前年度比
一般会計	6,367,000	6,700,000	▲333,000
松原診療所特別会計	19,500	24,700	▲5,200
四万川診療所特別会計	13,300	17,700	▲4,400
国民健康保険特別会計	554,000	547,000	7,000
後期高齢者医療特別会計	73,400	67,900	5,500
介護保険事業特別会計	583,000	591,000	▲8,000
簡易水道事業特別会計	136,100	126,300	9,800
農業集落排水事業特別会計	27,100	32,200	▲5,100
下水道事業特別会計	75,900	72,200	3,700
風ぐるま事業特別会計	1,192,000	14,700	1,177,300
病院事業会計	676,298	687,252	▲10,954
給与等集中管理特別会計	1,054,000	1,043,000	11,000
単純合計	10,771,598	9,923,952	847,646
各会計間重複控除額	1,665,226	1,645,517	19,709
差引純計額	9,106,372	8,278,435	827,937

日の外来患者数は前年度と比較して減少している。新型コロナウイルス感染症対策の継続は今後も必要であり、来年度以降も両診療所の診療日数は現状維持していきたいと考えているという報告があつた。

# 議案審議の概要

**3月定例会に提案され審議した主な議案についての概要**  
 (※質疑は抜粋)

## 補正予算

### 【一般会計補正予算】(第5号)

主な補正内容は、議会費で新型コロナウイルス感染症の影響による半導体不足でタブレットが調達できなかつたことによるペーパーレス会議システム委託料173万8千円の減額、総務費で土地等の調査委託業務に係る手数料659万9千円の増額、事業内容見直しによる太郎川公園敷地造成に係る工事請負費3億5千736万5千円の減額、民生費で複合福祉施設管理運営委託料700万円の減額、衛生費で、普通交付税の不採算地区病院の改正による病院事業会計繰出金1千404万8千円の増額、日吉斎場の施設修繕に伴う日吉斎場運営負担金101万円の増額、農林水産業費で雲の上のホテルの取り壊しによる収入減に伴う交流施設運営費負担金760万円の増額、商工費で観光協会運営委託料298万5千円の減額、土木費で実績件数の確定に伴う県単独がけくずれ住家防災対策事業補助金2千272万8千円の減額、梼原町がけくずれ住家防災対策事業費2千195万5千円の減額、消防費で新型コロナウイルス感染拡大による出初式等中止に伴う団員出動・出場手当235万円の減額、教育費で奨学資金貸付金786

万円の減額、新型コロナウイルスの影響により十分な活動ができなかつたことによる魅力ある梼高づくり補助金150万円の減額、災害復旧費で林道施設及び公共土木施設の災害の発生がなかつたことによる測量試験委託料850万5千円の減額、諸支出金で令和3年度予算余剰金の積立として財政調整基金積立金2億2千888万5千円の増額他で、歳入歳出それぞれ3億8千960万円を減額し、その総額を67億576万2千円としようとするもの。

### 可決(全員賛成)

問 西川慶男

令和3年度当初予算は約67億円であったが、今回補正で3億8千960万円の減額となつてゐる。減額分が執行されるのとされないので大きな差があり、町民の雇用や所得向上等に影響があつたのではないか。減額の理由を問う。

産業振興課長

減額で主なものは、ホテル・レストランの建設予定地であつた敷地整備に要する予算の減額となつてゐる。このことは、建設計画が白紙となり、計画がない中での敷地整備はできないので減額を行つてゐる。いく

答 森林の文化創造推進課長

間伐等に補助していいた交付金について、12月からの降雪により搬出間伐が実施できなかつたこと、また原本価格の高騰や建築用資材の不足により町産材の補助金申請予定者が住宅の着工を延期したいと申し出があつたため減額となつてゐる。

答 環境整備課長

交付金事業の交付金額確定に伴うこと、事業精査により伴う実績減というふうになつてゐるが、当初予算や補正予算で認めてもらい計画していた事業箇所や件数については実施しており、当初の目的としては達成していると考えてゐる。

問 西川慶男

がけ災害については積極的に取り組んでいただいてかなり進捗しております、ふれあい道路もほとんどできているので、引き続き積極的に予算執行し町民の皆さんのが安心して安全に暮らしていただけるよう取り組んでいただきたい。

答 環境整備課長

がけやふれあい道路については、申請者から届け出があつて事業を執行していくことになるので、引き続き周知活動に取り組んでいく。

**問** Gotoイートキャンペーンについての支援策を問う。  
**答** Gotoイートキャンペーンは飲食店が対象であるが他の業種の方々も困っている。国・県の支援事業の組み合わせで何ができるかしっかりと検討していく。

**下元秀俊**  
町長  
産業振興課長

**問** 安全な町づくりのために、町内のラジオ難聴地域への対応策が必要ではないか。  
**答** 各放送局へ足を運んで要望しているが、ラジコのアプリで対応できるので新たな基盤は屋外アンテナを設置しておりラジオが聞ける状態。災害時のためにも今後も要望していく。また、太郎川公園再生計画の中でも一体となって取り組んでいく。

**下元秀俊**  
町長  
中越計清

**問** これまで、障がいのある方のスポーツ振興の企画等少なかつたことは事実。来年度ボッチャや、フライングディスク用品の購入を予定。また月一回程度講師を招きスポーツ教室の開催を予定。今後活動が活発になり、将来的には雲の上のスポーツクラブへ障がい者団体の組織化ができればと考えて

**中越計清**  
生涯学習課長

**問** Gotoイートキャンペーンについての支援策を問う。  
**答** 産業のみならず町内全体のことなので経済回復部会と支援の在り方を協議していく。また、宿泊業については国からの補助金の詳細が公表され次第、観光・宿泊が一體となつた支援をしていく。

**下元秀俊**  
町長  
産業振興課長

**問** 介護従事者の確保が難しい。施設職員の退職も多いと聞くが、町として対策が必要ではないか。  
**答** カルスト会理事長と人事確保や福祉のあり方を議論する場を作っていくことにしており、人材確保に取り組んでいく。

**下元秀俊**  
町長  
総務課長

**問** これまで、障がいのある方のスポーツ振興の企画等少なかつたことは事実。来年度ボッチャや、フライングディスク用品の購入を予定。また月一回程度講師を招きスポーツ教室の開催を予定。今後活動が活発になり、将来的には雲の上のスポーツクラブへ障がい者団体の組織化ができればと考えて

**問** 農林業の更なる振興について、スピード感をもつて事業執行にあたつていただきたい。  
**答** 農業は農家の調査を行いながら作目を広げたり意欲を搔き立てたり、出荷できる体制作りの計画をしている。また林業については、地域の皆さん山を育ててきて良かったという思いが伝わっていくよう取り組みを進めており、引き続き一次産業の振興についてはしつかり取り組んでいく。

**西川慶男**  
町長

**問** ワイン用のブドウ栽培について、今後の進め方を問う。  
**答** 昨年500キロを収穫した。現在井上ワインリードで醸造中である。活用は今後しつかり検討していく。

**下元秀俊**  
町長  
中越計清



ただいま醸造中！

**問** 住宅の陰になるような支障木について伐採すべきでは。  
**答** 山林の所有者が個人なのでなかなか進みにくい現状。町有林の整備をし町有地は日陰対策に推進していくことができる。一步進めていきたい。

**中越計清**  
森林の文化創造推進課長



住宅の陰になる支障木

## 議案一覧と議員賛否状況 (賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	5	6	7	8
			森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	土釜清	市川岩龜	中越計清	西川慶男
第1号	令和3年度一般会計補正予算（第5号） 総額を67億576万2千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第2号	令和3年度松原診療所特別会計補正予算（第2号） 総額を2,361万2千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第3号	令和3年度四万川診療所特別会計補正予算（第2号） 総額を1,751万円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第4号	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 総額を5億7,894万5千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第5号	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 総額を7,005万6千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第6号	令和3年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 総額を5億4,795万7千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第7号	令和3年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号） 総額を1億2,574万1千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第8号	令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号） 総額を3,720万7千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第9号	令和3年度下水道事業特別会計補正予算（第2号） 総額を6,774万7千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第10号	令和3年度病院事業会計補正予算（第2号） 収益的収入及び支出の総額をそれぞれ、4億6,958万5千円、5億9,973万8千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第11号	令和3年度給与等集中管理特別会計補正予算（第2号） 総額を9億8,946万円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○
第12号～第23号	令和4年度各会計予算 審査概要については4～7ページを参照	可決	○	○	○	○	—	○	○
第24号	梼原町地域活動拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	—	○	○
第25号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	—	○	○
第26号	高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	—	○	○
第27号	高知県市町村総合事務組合から津野山広域事務組合が脱退することに伴う財産処分について	可決	○	○	○	○	—	○	○
第28号	高知県市町村総合事務組合から幡多中央環境施設組合が脱退することに伴う財産処分について	可決	○	○	○	○	—	○	○

### 寄付のお礼

この度、次の方から「議会だより 四万十源流」に対し寄付をいただきました。  
紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

◇愛知県名古屋市 加藤 朝弘 様

### お詫びと訂正

議会広報「四万十源流」令和4年1月20日第118号8ページ「12月定例会での決定」の記事の中に、一部誤りがありました。正しくは下記のとおりです。お詫びして訂正いたします。

(誤) 図書館敷地内の樹齢100年を超えるいちょうの樹を伐採している  
(正) 図書館敷地内の樹齢100年を超えるいちょうの樹を剪定している  
※以降も同記事の中の伐採と表記している箇所は剪定に訂正します。

## 決議案を提出

### ロシアによるウクライナへの侵攻に 断固抗議する決議

ロシアのプーチン政権は国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面侵攻を開始し、民間人を含む多くの犠牲者を出し続けている。ミサイルなどの爆撃によりウクライナに拠点を置く日本企業をはじめ現地在留邦人の生命が危ぶまれる状況である。

このような武力を背景にした一方的な現状変更は明白な国際法違反であり国際秩序を根幹から揺るがすものであり看過できない。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化をはかり即時無条件でのロシア軍の撤退を求めるよう求める。

以上、決議する。

令和4年3月10日

高知県梼原町議会

提出者	梼原町議会議員	中 越 計 清
賛成者	梼原町議会議員	森 田 呂 弥
	ク	西 川 豊 正
	ク	下 元 秀 俊
	ク	土 釜 清
	ク	市 川 岩 龜
	ク	西 川 慶 男

決議案を提出

### 閉会中の所管事務調査事項

各委員会は、6月定例会までの閉会中に、次の事項を調査します。

#### ●議会運営委員会

- ・令和4年6月定例会の運営について

#### ●総務教育厚生常任委員会

- ・福祉について

#### ●産業建設常任委員会

- ・産業振興について

#### ●議会広報編集委員会

- ・議会広報の発行について

# 新たなホテル建設は 早期に取り組むべき

太郎川公園再開発に関する調査特別委員会 委員長 土釜 清

## 調査の目的

前回同様のため省略する。

## 調査の概要

(1) 令和3年8月での雲の上のホテル建て替え計画に対する町民有志から提出された陳情の要点は次のような内容である。その内容は、

- 新ホテルの収容人数、建物の規模は必要性にそぐわぬ採算性のない計画であり経営責任の明確化と計画理由について
- 過去27年間のホテルの収支の明確化住民福祉に寄与した施設であつたか
- 新ホテルの建設について地元人材の結集ができないか
- ホテル建設を町立病院経営対策より優先させることへの町民合意の有無
- 公共建築物の優先順位について、耐久性・効率性かデザイン性かの議論を求める

というものであった。これらの陳情の内容と合わせて太郎川公園再生計画全体についての検討を行つてきた。

(2) 雲の上のホテルの開業から今日までの総括

開業当時は国道197号の工区が竣工し交通アクセスが改善していた時期であるが、バブル景気崩壊の影響が出始めたころである。

平成6年には消費増税があり大きく景気の後退局面となり「失われた20年」といわれる経済の停滞期に入った時期である。

経営については、平成6年の開業から平成9年までは津野山農業協同組合が行い、同年雲の上株式会社(実質はオリエントホテル高知)に変更され、平成22年までオリエントホテル高知が行った。そして同年、梼原町商工振興組合に移管されて再建に向けて検討をしていかなければならなか

い。

## 調査の内容

(1) 観光庁専門アドバイザーである織田祐吾氏に

選ばれるホテルの商品は、施設、料理、サービス、周辺環境である。特に、客室、温泉、料理のウエイトが高い。当地においては、食、料理に重点を置いて検討することが望ましい。

(2) 広島県江田島市「江田島荘」の運営について調査した。

(Web会議にて)

江田島市は、第3セクターベースの指定管理から民

による観光戦略、ホテルの経営指標などの研修を行つた。今後の業界の動向も踏まえ、新たな旅のスタイル、戦略的な誘客、地域観光の在り方、観光資源の活用、コロナ後を見据えた戦略的な地域観光戦略の必要性や、望ましいホテルの在り方、経営における重要な指標など多岐にわたって意見交換を行つた。

公募にあたり、市有地の無償提供と固定資産税の5年間免除、施設の建設等に5億円、雇用補助金として5千万円という条件にて公募した。ホテルは32室、総工費約20億円そのうち5億円は市の補助金である。

(3) 企画財政課および産業振興課からの説明を求めた。本町の財政見通しは今後ますます厳しくなってきていることから補助金、交付金、クラウドファンディングの活用などを改めて十分に検討することが必要である。また、産業振興課からは雲の上のホテルをはじめとする施設群に関するこれまでの運営状況の報告を受け、質疑応答を行つた。開業以来平成9年をピークとして以後右肩下がりとなつてきている。この間、修繕費、改修費等も、多額の投資をしてきていた。このことは、外観だ

けでなく内部のしつらえや食の提供の在り方など十分に練り上げてから設計に生かすことが重要であると考える。

雲の上のホテルは、経済活動を主とする事業経営体であるが、雲の上の温泉・プールとは目的も異なる。さらに、雲の上の温泉・プールは、利用者の減少とコストの増大などにより、自立経営が困難な施設となつていて、ホテルとは切り離して運営することが望ましい。道の駅も生産者の高齢化や減少で厳しい運営が予想されるが、同様に自立経営が可能となるよう、テナントの導入など様々なアイデアによって、自立経営をすることが望ましい。また、民間の手法を活用する手段もあるのではないか、そういった運営ができる人材の確保が重要である。

最後に、ますます厳しくなっていく財政事情に配慮し、各種補助金や有効性を付加価値」として検討すべき要素で

## まとめ

太郎川公園内の施設群は、人口減少や高齢化によつて縮小してきた地域の経済や地域活力を再生していくうえで必要不可欠の施設群である。観光交流を進め、地域経済への波及効果を高め、地域の活性化を促進し、本町のまちづくりに大きく貢献することが期待できる。コロナ禍の今、旅の形態やスタイル、ニーズは大きく変化してきた。

過去には主流であった団体旅行は減少し、個人、家族など少人数での旅行が主流となってきた。このことは、インバウンドでも同様である。ホテルが提供する商品は、施設、料理、サービス、周辺の環境の4つとされており、特に「客室、料理、温泉」の比重が高く、お客様目線で検討することが大事である。ホテル経営の本質であるこれらの要素に加えて「ホテルのデザインは付加価値」と

あり、加えて、繊細かつ高度な経営が要求されるものであり、専門性を持つた人材、組織の力が必要である。

本町は、豊かな山の資源である山菜や、標高差を生かした旬の野菜があり、和牛の産地もある。

さらには、貴重な自然景観である四国カルストを有している。また、山里の文化を体験できる農家民宿も高い評価を受けていることから、地域での宿泊戦略を再定義して町全体で観光振興に取り組んでいくことが重要であり、その旗艦としての新たなホテル建設は早期に取り組むべきである。

これまで、観光協会が経営を担つていくという構想で進んできたが、観光協会は観光資源の発掘やコンテンツの磨き上げ、その仕組み作りなど重要な役割がある。観光協会の役割と組織体制は見直しすることが必要である。

(一部省略)

構成委員	下元
副委員長	秀俊
委員	森田
委員	呂弥
委員	西川
委員	中越
委員	豊正
員	西川
員	計清
員	慶男



雲の上のホテル取り壊し後の今後の計画は急務



委員会でリモート研修を受ける様子

# 誰もが自由に参画できる市場作りを

産業建設常任委員会 委員長 西川豊正

## 調査の目的

前回同様のため省略す  
る。

当日は、産業振興課長、道の駅準備室長、他1名

に出席いただいた。

道の駅準備室からは、  
桙原町太郎川公園再生計  
画検討委員会における道  
の駅に関する部分の意見  
等を交え、現在検討して

いる道の駅の設計などに  
ついて説明いただいた。  
また、前回の調査内容の  
結果報告及び結果を踏ま  
えたこれまでの動き、更  
に新しい雲の上の市場に  
ついての経営方針の変更  
点の説明や、管理経営体  
制の構築について説明を  
いただいた。

しかしながら、資材高  
騰等により財源の目途が  
立たず、雲の上のホテル、  
レストラン、道の駅の整  
備計画を全面的に見直す  
こととなり、これまで検  
討してきた道の駅等の設  
計に関しては、再度見直  
す必要が生じた。更に今  
後の社会情勢の変化が見  
出まれる状況である。

このような状況ではあ  
るが、新しい雲の上の市  
場に期待される役割は大  
きく、農産物等の生産体  
制、出荷手段、食品衛生  
法改正による施設の整備  
や体制作り、新たな商品  
作りに向けた体制など、  
全町民が関わり、町民の  
生きがいとなる事業を実  
現するため、その仕組み  
作りについて進捗状況の  
調査を行った。

この調査の結果は、実態の  
把握と共に結果の分析が  
良好できており、道の駅  
に期待される役割につい  
ても理解できている。今  
後更に関係者で協力し  
合った課題解決に向けて  
の体制作りが必要であ  
る。

今回の結果を踏まえ  
て、人づくり及び農産物  
等生産の仕組み作りを再  
構築する必要性を共有す  
ると共に、生産意欲を搔  
き立て、物を「作り」「稼  
ぐ」仕組みづくりへの支  
援策が急務と思われる。  
そのためにも、今後更に

## まとめ

地域の実態と内容をしつ  
かりと把握し、町民と行  
政、関係機関が一つにな  
り、地域の人の「技」と「ア  
イデア」を出し合い、共  
に新しい市場を築き上げ  
ることが重要であると考  
える。

また、市場経営に関し  
ては集落活動センターと  
連携し、強い決意をもつ  
て地域住民と共に取り組  
むことが、生きがいの創  
出と地域経済の循環へと  
つながっていくものと考  
える。



軒先を修繕したふるさと市場



新しい道の駅が整備されるまでの仮店舗

構成委員	副委員長	委員	中越	計清
		員	下元	秀俊
		市川	岩龜	



# 問 「百万一心」の心で まちづくりを進めよ!

**答 子供や若者が夢を持ちチャレンジしていく  
町づくりをしていく**

町長 吉田尚人

**答**

町長 下元秀俊 議員  
障がいがある人も  
ない人も生きがいや幸福  
感をもつて心豊かな暮ら

**問**

農福連携について  
町長の「協働」の  
理念のもと、希望する団  
体、主体となる方々はじ  
め多くの町民の交えての  
調査研究と体制づくりを  
進めていくことを提案す  
る。町長の考えを問う。

**答**

町長  
世界の課題解決先  
進地として、経済を再生  
し、自然とともに豊かな  
町民生活を実現し、  
子供や若者が夢を持ち、  
チャレンジしていく町  
づくりをしていきたい。

**問**

町長の1期目の後  
半はコロナ禍に翻弄された2年間であつた。このような厳しい状況であるが「逆境は人も町も大きく伸びる好機である」と思うが、本町の住民力を今一度思い起こし「百万一心」の心で町づくりに取り組んでいかなければならぬが、町長の意気込みを問う。

まちづくり推進課長

教育長

まちづくり推進課長

自主財源の確保について

人口増加対策について  
本年1月の人口は3千人であり、この10年で472人少なくなった。人口推計によると2025年には3千63人、そして2030年には2千783人と予測される。これまでに、移住政策によって98組209人（うち59人が未成熟者）が定住している。このことを考えると、あらためて、移住定住に以前にもまして取り組まなければならない。そしてそのポイントは、まず、子育て環境の整備、そして住宅の整備、就労、就業の確保である。それをふまえて、橋原高校の存続

は必須条件である。全国

で志ある生徒の入

学につながるのではない

が、どうか。

から橋原高校に進学した

ために、橋原高校のさらなる魅力化への支援が必要である。町外からの進

用や返済期間の長期化など優遇も検討して実施すること

で志ある生徒の入

学につながるのではない

か。

まちづくり推進課長

教育長

まちづくり推進課長

自主財源で町税は、年間約3億円である。ふるさと納税と企業版ふるさと納税は自主財源の少ない本町にとって極めて大切な財源である。これを増加できることは財政的にも産業活性化にも極めて大きな制度である。さらなる推進を期待するが、考えはどうか。

まちづくり推進課長

教育長

まちづくり推進課長

自主財源の確保について



村の人達が山の斜面を茶園として開拓し、今は三度の食事に欠かせない飲み慣れたゆすはらのお茶を製造・販売している田所商店を取材した。

自然豊かな水源の里、四万十川に注ぐ最後の清流梼原のミネラルウォーターは、梼原の澄んだ空気と暖かな日差し、朝晩の寒暖差とともに相性が良く、絶品のうまい味が格

段に増すと、誰もが口を揃える。



田所商店の製茶工場は、昭和の初期、しいたけ乾物問屋と合わせ茶工場を併設、町内外より好評をいただき、以来おみやげや贈答品として販売されている。

三代目田所祐人さんは、梼原町森林組合を退職後、田所商店を引き継ぎ、町の唯一の製茶工場となつた。昭和初期の日本茶製造ラインの蒸し器や柔揉機(じゅうねんき)

## まちの製茶工場

### 心のふれあい広場



今では貴重な茶葉の竹かご

ト台地で栽培された茶葉が絶対条件。ミネラル豊富な茶葉の収穫は時間が短く、霜の被害も懸念される。春一番の茶葉の収穫を楽しんでみてはいかがでしょうか。

まち工場田所商店では、茶葉の買い取りや加工も取り扱いをしていまので、気軽に相談してみてはいかがでしょうか。

西川 豊正 記



昭和初期の茶製造ライン

改めて、一次産業の掘り起こしが急務である。梼原のお茶は人気商品で、販売需要は多く上昇傾向にあるので、今一度特産加工商品の復活栽培を呼び掛けている。

吉田町長が公約に掲げた項目を、一つ一つ実現に向けて邁進して戴きたいものです。議会も7名であります、一人ひとりが住民の声につかりと耳を傾け、本町の発展と活性化、町民皆さんの幸せのために努力してまいります。

中越計清 記

### あとがき

今年の冬は積雪こそありませんでしたが、少雨で肌寒い年であつたように思います。

4月に入り桜が満開となり、身も心もわくわく弾むような季節となつてきました。今年で3年目となる新型コロナウイルス、オミクロン株の収束はまだまだ先が遠いように感じられます。また、ロシアのウクライナへの軍事侵攻により、住居、施設等が破壊され、多くの犠牲者が出ており心が痛む思いであります。何とかしてロシアの暴挙を止め停戦にならないかと願う毎日です。

こういった世界情勢の中、政府は令和4年度、10兆円余の膨大な予算が可決成立され、岸田内閣の下、さらなる日本の発展と国民の幸福を求め頑張って戴くことを期待するところであります。

本町においても、吉田町政二期目の当初予算是、単純合計で一般・特別会計合わせて107億7千万円余の規模となり、令和4年度のスタートを切ったところであります。

吉田町長が公約に掲げた項目を、一つ一つ実現に向けて邁進して戴きたいものです。議会も7名であります、一人ひとりが住民の声につかりと耳を傾け、本町の発展と活性化、町民皆さんの幸せのために努力してまいります。